

# 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

## 女子2回戦

試合日	2023年2月11日
会場	エコパアリーナ
コート	Dコート
開始時間	14:40

TEAM A		TEAM B
市立沼津 (静岡)	33	100 桜花学園 (愛知)
	10 - 27	
	9 - 21	
	6 - 22	
	8 - 30	
	OT	

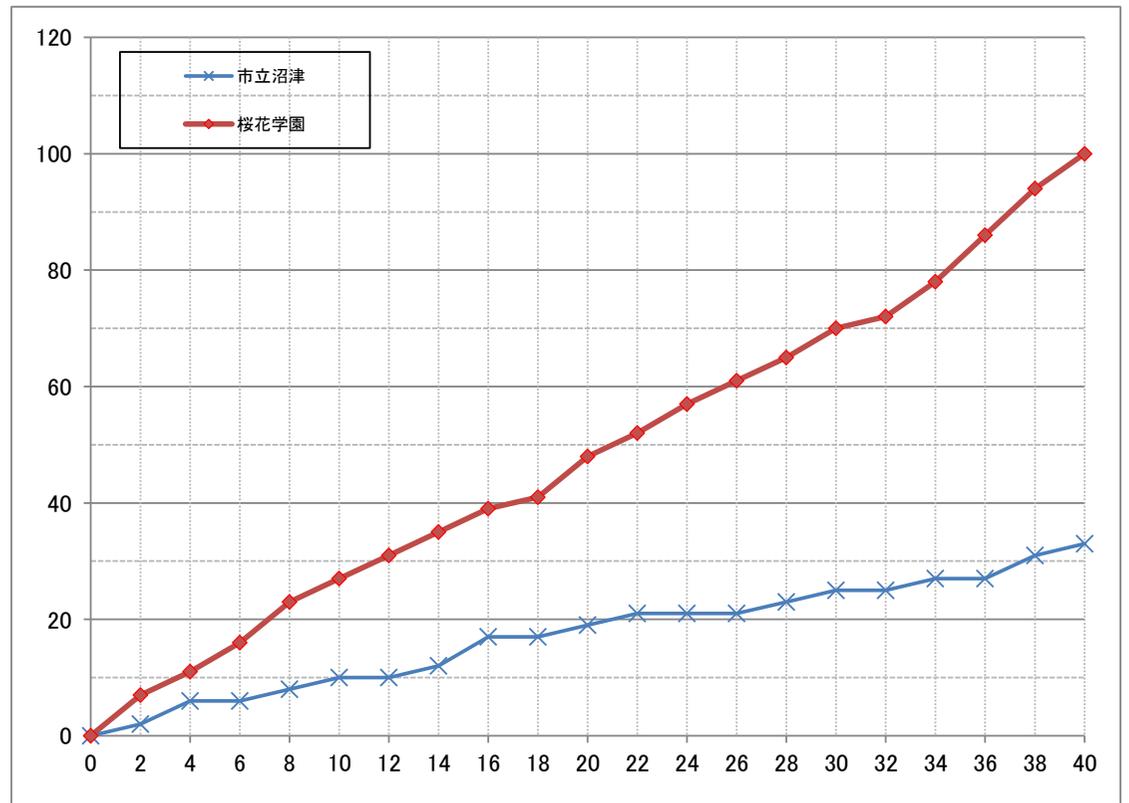
### TEAM A 市立沼津 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1		勝 亦 麻 結	2	0	1	0	1
4	*	遠 藤 有 菜	0	0	0	0	4
7	*	一 藤 木 楓	9	0	4	1	0
8	*	河 谷 真 矢	2	0	1	0	4
15	*	遠 藤 陽 向	18	0	8	2	2
16	DNP	伊 倉 花 朱 実	0	0	0	0	0
21	DNP	渡 邊 絢 香	0	0	0	0	0
25	DNP	竹ノ内 菜 優	0	0	0	0	0
31	DNP	當 房 心 瑠	0	0	0	0	0
39	DNP	丸 山 美 咲	0	0	0	0	0
76		横 山 文 音	0	0	0	0	0
77		秋 山 叶 羽	0	0	0	0	2
93		川 口 青 空	0	0	0	0	1
94		合 澤 小 菊	0	0	0	0	0
95	*	小 山 内 悠 桜	2	0	1	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			33	0	15	3	16

### TEAM B 桜花学園 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	田 中 こ ころ	11	1	3	2	1
5	*	黒 川 心 音	8	0	4	0	2
6	*	松 本 加 恋	9	0	3	3	0
7	*	東 小 姫	12	0	5	2	3
8	DNP	福 王 伶 奈	0	0	0	0	0
9		菅 原 こ と ほ	2	0	1	0	0
10		齋 田 夢 良	4	0	2	0	1
11		山 田 英 真	6	0	3	0	1
12		白 石 弥 桜	17	0	7	3	1
13		阿 部 心 愛	0	0	0	0	1
14		三 國 ソフィアエブス	4	0	2	0	0
15	*	深 津 唯 生	21	0	9	3	0
16	DNP	オサトアリアシア 藍 依	0	0	0	0	0
17		角 田 絆 奈	0	0	0	0	0
18		三 間 萌	6	0	3	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			100	1	42	13	10

## 【 得点経過 】



## 【 戦 評 】

1Q  
女子2回戦、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始から桜花学園のインサイドの強さが光る。#7東がゴール下のシュート、オフェンスリバウンドからのセカンドチャンスで主導権を握る。対して市立沼津は速いディフェンスの寄りからルーズボールを追いチャンスを作り、#15遠藤のミドルシュート、フリースローでの得点で食い下がる。高さのあるオフェンスに対し、市立沼津もディフェンスで足を使い、必死にプレッシャーをかけた続けるも桜花学園の勢いを止めることはできない。速いパスワークから相手をかわし、#4田中のドライブ、#5黒川のミドルシュートで得点を重ねる。その後も桜花学園の猛攻は続き、1Qを10-27で終える。

2Q  
点差を縮めたい市立沼津はさらにディフェンスのギアを上げ、桜花学園のインサイドに対して人数をかけてプレッシャーをかける。しかし、#15深津が持ち前のボディバランスを活かし、ポストアップからの1対1で連続得点をする。市立沼津は苦しい時間の中でも、#15遠藤が積極的にリングにアタックし、ミドルシュートで得点をする。その後もなんとか#7一藤木のアンドワンで流れを持ってこようとするも、桜花学園は譲らない。交代が入った#齋田が華麗なパスでアシスト、どこからでも点を取ることができるバスケットで市立沼津を翻弄する。残り2分で17-41と点差を広げ、たまたま市立沼津がタイムアウト。市立沼津もなんとかチャンスを作ろうと試みるも、桜花学園の高さを前に、オフェンスリバウンドからセカンドチャンスを作ることができない。前半は桜花学園が流れを掴み、19-48で試合を折り返す。

3Q  
後半も両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。何とか流れを掴みたい市立沼津は#8河合のオフェンスリバウンド、#7一藤木のスティールでチャンスを作るも、桜花学園のディフェンスで阻まれ、得点にはつながらず。リードする桜花学園は手を緩めることなく、#12白石、#15深津のリバウンド、ゴール下で安定して得点をする。#5黒川もハンドリングスキルを活かし、ゲームメイクをしつつも隙さえあれば自らリングを狙う。点差が開く中でも市立沼津も決して諦めずにボールを追い続け、#8河合のリバウンドシュート、#15遠藤のレイアップで何とか食らいつく。主導権を譲らない桜花学園がさらにリードを広げ、25-70で3Qを終える。

4Q  
最終クォーターも桜花学園の猛攻は止まらない。スムーズなパスワークから#11山田のミドルシュート、#6松本のゴール下のシュートで得点を重ねる。ディフェンスでもハードにプレッシャーをかけ続け、決して市立沼津に流れを渡さない。厳しい時間が続く市立沼津ではあるが、一矢報いようとボールを追い続け、チャンスを作る。それでも桜花学園は徹底してシュートを抑え、その後もさらに点差を広げる。最終的に終始、主導権を渡さなかった桜花学園が33-100で市立沼津を下し、準決勝に駒を進めた。